

函館盲学校と函館聾学校

創立130周年の節目祝う

函館市の函館盲学校

(田家町)と函館聾学校
(深堀町)の創立130周年

年記念式典が25日、同聾
学校で開かれ、両校の在
校生や同窓生、職員ら約
200人が節目を祝つ

た。

両校の始まりは189

5年(明治28年)に米国

人女性のC・P・ドレー
パーさんが創設した「函
館訓育会」で、道内の特
別支援学校で最も歴史が
ある。現在は盲学校に10
人、聾学校に13人が在籍

している。

式典では、盲学校小学
部4年の中村柚蒼さん
(9)が「勉強を一生懸命
頑張って漢字が書けるよ
うになつたり、計算がで
きるようになつたりして

児童生徒代表も喜びの言葉を
語つた創立130周年記念式
典(金田淳撮影)



うれしい」、聾学校中学
部2年の福井稜馬さん
(13)が「学校が大切にし
てきたことを継承できる
よう、一日一日を大切に
過ごしたい」と、それぞれ
れ学校生活での喜びや目
標を語った。

また、卒業生が学校で
の思い出を振り返つたほ
か、教職員対象の手話研
修に長年協力する講師ら
へ感謝状を贈った。

(白石翠)